

## 平成二十二年第四回定例県議会 提案理由要旨（十一月三十日追加提案）

ただ今上程されました諸議案について説明申し上げます。

はじめに、第百三十六号議案 大分県一般会計補正予算についてであります。国では、先週、円高・デフレ対応のための補正予算が成立しました。本県でも、これに呼応して今回、補正予算案を追加提案させていただきました。補正します額は、百三十三億七千八百三十九万円であり、これに補正前の額を加えますと、六千二百二十三億五千三百四十三万三千円となります。

今回の補正では、新たに設けられた地域活性化交付金や追加造成された基金などを活用し、景気・雇用対策に重点を置きつつ、地域のニーズにきめ細かく対応する事業も計上いたしました。

以下、その主な内容を説明申し上げます。

### （景気・雇用対策）

まず、景気・雇用対策です。

国内の景気は、回復に向かう動きが弱まり、今や足踏み状態にあります。これが今後、後退に陥らないよう早急に手を打たなければなりません。県は当初予算においても、国の公共事業費が削減される中、県単独の普通建設事業を増額するとともに、雇用や職業訓練の予算を倍増し、二千八百人の新規雇用を創出するなど景気・雇用対策に力を入れましたが、さらに対策を講じる必要があると判断し、補正予算を編成しました。

一つは、公共事業の追加であります。上半期には七十二%の公共事業等を前倒しで執行しましたが、今後の事業量を確保するとともに、事業効果がすぐに出るものに重点を置き、五十五億円を上積みします。また、県単独事業として、道路交通の安全確保にも配慮し、老朽化した交通標識やトンネル内の排気装置等を更新するとともに、河川の流下能力回復のため、堆積土砂等の掘削を追加して行います。

併せて、厳しい状況が続く雇用では、緊急雇用創出事業により約四百八十人の新規雇用を創出します。

### （教育環境整備）

このように景気を下支えしながら、教育再生に向けて教育環境の整備、充実にも力を入れます。

男女共学となった大分西高校や中高一貫教育を導入した大分豊府高校では、グラウンドの面積が不足し、体育の授業やクラブ活動に支障をきたしていたところ。このため、旧運転免許試験場跡地を活用し、共同利用型の第二グラウンドを整備します。また、二十三年度に高等部を開設する宇佐支援学校中津校の作業棟やプールなどの改修を行います。

高校球児の晴れ舞台、新大分球場についても、老朽化や機能改善への対応が懸案でありました。特に、面積が不足しているグラウンドは、公認野球規則を満たすよう外野面積を拡張するとともに、スコアボードを全電動化します。そのほか、総合体育館のトレーニング機器の更新や、香々地青少年の家の体育館改修等を行います。

また、文化面では、児童・生徒にとって読書習慣を身に付けさせることも大事です。折しも今年には国際読書年であり、学校図書館を活用する授業環境を整備する市町村に助成するとともに、県立図書館の小中学校向け貸出図書などを充実します。

### (安全・安心対策等)

今年には、新型インフルエンザだけでなく、A香港型など季節性の流行が危惧されています。感染時の重症化を防ぐため、ワクチン接種が重要ですが、昨年度と同様、所得の低い世帯に対しては、その費用を助成します。また、細菌性髄膜炎や子宮頸がんの予防にもワクチン接種が効果的ですが、費用負担が重く多くの子どもが接種できていません。このため、ヒブや肺炎球菌、子宮頸がん予防のワクチン接種についても公費負担とし、接種費用を市町村に助成します。

継続できるか心配していた妊婦健康診査の公費負担については、国の交付金を基金に積み増し、二十三年度も引き続き実施します。

さらに、子育てしやすい環境づくりのため、県庁舎など二十六の県有施設に授乳スペースなどを設置するとともに、保育所等にAEDの設置などを行う市町村を支援するほか、心痛む児童虐待の防止に向けたキャンペーンを集中的に実施します。

増加傾向にあるDV被害についても対策を強化します。被害者の経済的自立を支援するため、一時保護施設退所後の住宅確保や求職活動中に必要となる家賃や託児料を助成するとともに、被害者の精神的孤立を防ぐためサポートルームを設置します。

このほか、社会問題となった口蹄疫にも対応します。宮崎県では有名な種雄牛が殺処分される事態となり、本県でも十一頭を国東市に一時避難させました。種雄牛への感染を防ぐため、完全閉鎖型の牛舎を整備します。

また、農林水産研究指導センター畜産研究部が広島大学と共同開発した豚の凍結精液技術を普及し、農家所得の向上を図るため、凍結精液製造施設を整備します。

さらに、来年三月の大型国際クルーズ船の別府寄港に向けた準備も急がれます。アジアをターゲットとした国際観光の展開に向けて受入体制を整備するとともに、今後の誘致に向けて海外セールスを展開します。

(財源)

以上が補正予算の概要であります。これに伴う財源は、地方交付税 六十二億千八百余万円、国庫支出金 九十三億余万円の増、県債 三十億七千万円の減などです。

なお、今回の補正では、現時点で見込めるものを可能な限り計上しましたが、今後、内容が判明する各種基金事業等については、二月補正で措置したいと考えております。

次に、第百三十七号議案 大分県安心こども基金条例の一部改正については、国の補正予算に伴う交付金を受け入れて基金に積み立て、市町村が実施するヒブワクチン等の予防接種に助成するため、基金の目的を追加するものであります。

以上をもちまして、提出しました諸議案の説明を終わります。

何とぞ、慎重御審議のうえ、御賛同いただきますようお願い申し上げます。